

2024 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2024 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「経済学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
経済学科・経済専攻	1	1	1

【スポーツ】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
経済学科・経済専攻	30	29	28

2. 試験内容

面接 20 分のうち、最後の数分を、口頭試問を行う形での 2 次選抜試験に充てました。口頭試問は高校の現代社会や政治・経済の教科書に記載されている「現代の経済」分野の内容に基づいて出題しました。今年度は、「現代経済のしくみ」に関する教科書の内容に記載されている用語についての理解を確認しました。

3. 出題意図

学部のアドミッションポリシーに沿い、経済・社会の問題を分析するために必要な基礎学力が定着しているかどうかを確認することを意図しました。

4. 評価ポイント

2つの問題を出しました。ノーヒントで答えられたかどうか、2問とも正解できたかどうかを中心として評価しました。

5. 解答状況

事前の指示（一次合格者向けに通知される口頭試問概要の内容）を踏まえ、口頭試問の準備をきちんと行っていたように思います。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

口頭試問では今年度のように「受験生の考え」を問う場合もあれば、適切な用語、単語を答えてもらうなどの「知識」を問う場合もあります。色々なパターンが考えられるので、事前の指示も確認し、しっかり準備してください。なお、口頭試問では、用語の「読み方」を間違えると不正解となります。教科書に読み仮名が記載されていない場合もありますので、各自で確認しておきましょう。

また、教科書に書かれた用語などを単に覚えるだけでなく、関連するニュース記事などにも接し、経済や社会について考えてみると良いでしょう。勉学に対して真摯に取り組まなければ、学業と課外活動を両立できません。日々の勉強に一生懸命取り組んでください。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

口頭試問では、今年度のように「受験生の考え」を問う場合もあれば、適切な用語、単語を答えてもらうなどの「知識」を問う場合もあります。色々な出題パターンが考えられます。

口頭試問の場合には、単語の読み方を正しく読めなければ不正解になります。教科書を勉強する際、常識的な単語であっても読み間違えないように、一度教科書の指定範囲全体を音読させるなどの対策が望ましいと思われます。加えて、重要語句（太字などで強調されている単語）を覚えるだけでは不十分で、これらの語句と関連する単元全体を学習することが必要です。事前の指示も踏まえ、きちんと準備をさせることが重要です。

入学後の勉学と課外活動を両立させるためには、日ごろより勉学に対して真摯に取り組むことが不可欠です。

以上